



留学生と語り合う

No. 69

RKK ニュース (2017 年秋号)

NPO 法人 留学生と語り合う会(RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

日本語の教え方講習会開講にあたって

日本語支援Gスタッフ 古谷 清子

「日本語の教え方講習会」は今回 22 回目を迎えています。これまで約 20 年近く、の長きに亘りご指導いただいた



河島ゆりか先生が、ご家庭の事情により継続することが難しくなりました。今回より新たに薄井廣美先生をお迎えしてのスタートになります。薄井先生は日本語学校や横浜国大で講師を務める傍ら、日本語能力検定 1 級の受験対策本等も執筆されています。

さて、「日本語母語話者なら誰でも日本語を教えることは出来る」と言うのは、確かにその通りかと思えます。しかし、母語話者なるが故に外国の方に質問され、答えに窮することは良くあります。私はかつて、モンゴルからの国費留学生にモンゴル語を教えてもらったことがあります。彼は私の質問に「うーん、それは説明が難しいな!」と、たびたび頭を抱えていました。

母語話者はことばの微妙なニュアンスや違いを無意識のうちに使い分けています。普段は意識しないで感覚的に使えるが故に、いざ言葉で説明しようとするの大変難しく感じるのだと思います。いつも考えることですが、私達も外国の人に日本語を教えようと思ったら、日本語を外国語として見る視点を養う必要があると思えます。

日本語の教え方講習会は、10月9日から11月11日まで5日間、計10時間の講座ですが、普段になげなく使っている日本語を見つめ直す良い機会になると思えます。日本語の奥深さ、面白さを再発見することでしょう。

Opening the Course "How to Teach Japanese"

Kiyoko Furuya

It is the 22nd lecture "How to teach Japanese" this year. Ms.Yurika Kawashima has been taught for over 20 years. However, it has become impossible for her to continue this lecture due to family reasons. Ms. Hiromi Usui accepted our proposal for a new lecturer, who will bring a new start from this season. She has been a lecturer at Japanese Language School and the Yokohama National University, and also she wrote examination guide books for Japanese Language Proficiency Test Level 1 grade.

It is thought that "Native Japanese speakers can teach Japanese," I certainly think it is true. But when a foreigner asks you about meaning of a certain Japanese word, you may feel in some case difficulty in explaining it exactly. I have learned Mongolian language from a mongolian student who was very excellent. Sometimes, however, he was puzzled at my question and said "Umm, it's too difficult for me, I cannot explain it". This experience reminds me of him, holding his head in his hands.

Native Japanese speakers can express their subtle nuances and differences unconsciously. It is thought that it is very difficult to explain these matters with words because we can use Japanese sensuously without consciousness. I always think that it will be necessary to have a view point to consider Japanese as a foreign language.

The total amount of the lecture time of this course is 10 hours per 5 days from October 9 to November 11. I believe that this lecture will bring an opportunity to reconsider Japanese which we use casually. It will be my pleasure if you find profundity and interest in Japanese by taking this lecture course.

Please visit RKK Festival 2017

開催日: 11月23日(木 祝日)

場所: かながわ県民センター 301 会議室

Date: Thursday, 23rd Nov. (Holiday)

Place: Kanagawa Kenmin Center, R301

プログラム

9:30-12:30 日本語スピーチ大会

13:00-16:00 文化祭

Program

9:30-12:30 Japanese Speech Contest -

13:00-16:00 Culture Exchanges

最終ページをご覧ください。
右のコードをスキャンすると詳しい
案内があります。

Please see the last page, and find a chance
to know Japanese culture.

For details, scan the right code to see flyer.



顧問からのたより

留学生との縁

顧問 山田光義



私は横浜国立大学経済学部で留学生専門教育教官として勤務し、同大学の留学生センター発足にもない留学生の生活指導担当となり、留学生との縁が始まりました。RKKが1999年に発足すると同時にRKKの顧問となり、それ以来みなさまとともに活動する機会に恵まれました。RKKのホームページの「RKKのあゆみ」に記載されている創立以来18年にも及ぶ間に行われた多彩な活動の記録を見ると、改めて会員各位のご努力に深い感慨を覚えます。

外国人留学生たちがはるばる日本にやってくる目的の第一は勿論勉学ですが、留学生の国を知ることもそれに劣らず大切なことなので、市民との交流も欠かせません。勉学と市民との交流とは車の両輪のようなものでしょう。RKKはまさにこの面で貴重な存在になっています。RKKの活動には、日本語支援、文化・ファミリー交流、中国語学習、社会・工場見学、などがあります。私も7月の七夕祭り、11月の日本語スピーチ大会、文化祭などにはよく参加させていただいています。とりわけ日本語支援は留学生の勉学を側面から大きく支援するという点で意義深いものです。RKKニュースのNo. 68（2017年夏号）には7年もの間RKKの理事長を務められた大田孝生顧問が中国人留学生の105ページにも及ぶ博士論文の日本語をチェックされた経験を詳細に報告しておられました。このような地味で時間と根気を必要とする手助けによって無事に日本での留学を終えた学生たちが世界の各地で活躍するようになることを考えるとRKKの存在意義の大きさが再認識されます。

2001年横浜国立大学を定年退職した後も、幸いにもRKKのお陰で留学生との縁は続いています。横浜国立大学退職のち、私は短期間東京工業大学留学生センターの囑託となりました。「RKKの歩み」の年表を見ていると2002年1月に『東京工業大学「留学生のための日本伝統文化交流会」実施にRKK協力』と記載があり、その当時のことを懐かしく思いました。

独立行政法人日本学生支援機構という組織があります。この中に留学試験課がありますが、これは日本留学を志す外国人留学生に対して留学試験を行う部門です。私は2003年からこの組織に非常勤で勤務しています。多くの留学生がこの試験に挑戦して、これからより質の高い外国人留学生がどんどん日本に来てくれることを願っています。

ここで日本の留学生政策をおさらいして見ましょう。よく知られている留学生政策としては、「留学生10万人計画」というのがあります。これは1983年に当時の中曽根首相の指示を受けて、21世紀初頭において10万人の留学生を受け入れるとしたものです。実際に留学生数が10万人に達したのは2003年でした。この記念すべき年の留学生数は109,508人でした。2010年7月には統計の取り方に大きな変化がありました。それまでは大学入学を目指して日本語学校で日本語を学んでいる学生は「就学生」に分類され、留学生とは区別されていました。留学生関連の統計は毎年5月に日本学生支援機構によってまとめられていますが、2010年5月の留学生数は141,774人で、就学生数は33,266人でした。この翌年の2011年5月の統計では留学生数に従来の就学生として分類されていたものが含まれたので、留学生数は一気に増加して163,697人になりました。一番新しい数字は2016年5月現在で留学生数239,287人です。これは前年比14.8%、30,908人の増加という結果でした。

文部科学省は2008年7月に留学生30万人計画を策定しました。2020年までに30万人の留学生を受け入れようというものです。『日本を世界により開かれた国とし、アジア、世界の間のヒト・モノ・カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、2020年を目標に30万人の留学生受入れを目指すもの』と規定されています。この計画では留学生受け入れ環境づくりの一つとして、「地域・企業等との交流支援・増進」が盛り込まれていますので、RKKの使命はますます重要性を増すでしょう。私はこれからもRKKのみならずと一緒に関わり活動が続けていきたいと願っていますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

留学生からのたより

A THROWBACK TO JOYFUL TRIPS IN JAPAN

Khawaja Ali 横浜国立大学大学院 (パキスタン)

My name is Khawaja Ali; a PhD student in Graduate School of Urban Innovation at Yokohama National University. I belong to Pakistan and I have been living in Japan for last two years. I studied Master of Engineering program from same university (10/2015 - 09/2017) and I really enjoyed my study as well as stay in Japan.



Japan has always been in my travel wish list. It is a country where one can really enjoy and feel the essence of nature in its pure form. I am always interested in Japanese culture. Last year, I had a chance to go to Haneda Airport's 4th floor to see the Edo-themed market where I could excite my senses by going back in Japan's Edo Period, a performance involving Japanese instruments like the shamisen, well-known as the instrument played by geisha. I enjoyed that festival and learnt a lot about Edo Period and how Japanese people used to live in past. It was a memorable and eye-catching festival indeed.

Wearing Yukata is also one of the most exciting things ever happened to me in two years of my stay in Japan. The Yukata festival was organized last year by Kanagawa Systematized Good Will Guide (KSGG) and supported by TUZUKI MINKAEN. Besides wearing Yukata, I also experienced how to play the KOTO and SHAKUHACHI instruments. It was fun and an unforgettable experience for me to relish Japanese culture.

I would also like to recall the sweet memories of New Year (2016) celebrations. I was invited by a Japanese host family for a day. I went to Ofuna railway station in Kamakura, with my international friends, early morning where the host family was waiting for me at station exit. I was very impressed by their politeness and supreme etiquettes. Then, we moved towards their home by walk. Their house was not so big though but it was newly constructed, incredibly beautiful and well designed. After that, there was a special lunch for New Year celebrations. I tasted almost all dishes but Ozoni Japanese soup was the best in taste. At evening time, the host family dropped us at Ofuna station from where the good day was started.

I was not so good at speaking Japanese language in beginning. Then, one of my friends told me about RKK. I contacted Futsu Sensei and requested him if I could join RKK for learning Japanese language and

he warmly welcomed me. He has always been kind to me and RKK gave me very good and friendly environment to learn Japanese language. Takeda Sensei (RKK tutor) encouraged me through thick and thin. Without her support and continuous motivation, I could not have been able to learn much and I really got sensation of confidence in Japanese language in no time. I personally found RKK very helpful like second family in Japan.



トピックス

横浜市大 (YCU) の留学生歓迎会に参加しました

秋入学の留学生歓迎会が10月11日に金沢八景キャンパスにおいて行われました。留学生会会長からRKKにも案内を頂きましたので深木理事長、津田さん、岩瀬の3人で参加してきました。

歓迎会は渡邊望栄会長の大変流暢な英語司会で終始取り進められ、グローバル推進室、金沢国際交流ラウンジ、RKK、全留学生の紹介の後、来日したばかりの15人の新入留学生を囲んでの歓迎懇談の時間となり、70人の参加者は互いに大きな声でないと聞こえないほどの賑やかな雰囲気の中で、日本留学の動機、日本語学習法、学科、日本食などの話に花が咲きました。会話できたオーストラリア、フランス、韓国、南アフリカのどの留学生も大変正確な日本語を話すことに、今回はびっくりしました。また、RKK行事等へ興味を抱いた留学生がパンフレットを大事に鞆にしまう姿に感心しました。

後半、岡田副学長がご自身で料理された大きなケーキを沢山持参され、留学生のほか会場全員の方に自らナイフで切り分けて振舞って下さり、再び会場が大いに盛り上がり、1時間半もあっという間に過ぎ、夜8時半に散会しました。(岩瀬 記)

社会・工場見学

江戸東京博物館と旧安田庭園の見学記

王小双 横浜国立大学大学院 (中国)



2017年9月19日、RKKさんのおかげで、江戸東京博物館と旧安田庭園を見学することができました。午後1時から3時半まで、江戸東京博物館を見学しました。日本に来て3年も経ちましたが、日本の博物館を見学するのは初めてでした。館内に入ったら、江戸東京博物館の広さに驚きました。ネットによると、館内の常設展示室は、約9000㎡の広さもあるそうです。常設展示室は江戸ゾーンと東京ゾーンに分かれています。江戸ゾーンでは浮世絵や日本橋、長屋などの展示物があり、江戸時代の庶民の日常生活などを展示しています。東京ゾーンでは、明治維新

や関東大震災などの展示があります。ここで江戸東京の文化、日本の暮らしを体験することができます。考え、觸がワクワクしました。

限られた時間なので、江戸ゾーンを主に見学しました。江戸ゾーンの見学で一番印象に残ったのは実物大で復元した日本橋です。展示室の入口にあるコーナーで、日本橋の模型を見ました。就職活動で日本橋駅まで何回も行きましたが、「本当」の日本橋を見るのは初めてでした。ガイドさんの解説を聞きながら橋を渡るとき、まるで江戸時代にタイムスリップしたようでした。

日本橋以外に、長屋の模型や、食べ物の模型などを見て、江戸時代の人々の暮らしを体験できました。食べ物の模型を見ながら「江戸時代の食べ物の中で、一番高いのは何ですか?」と、ガイドさんに聞かれました。お寿司だと思いましたが、正解は「玉子」だと聞いて、びっくりしました。今安くて普通に買える玉子は、江戸時代の高級品だったそうです。

午後3時半から4時ぐらいまでは、旧安田庭園の見学でした。旧安田庭園に入ると、美しい庭園だと感嘆しました。実は見学会に参加するまでは、日本の庭園は、兼六園しか知りませんでした。旧安田庭園は兼六園ほどの大きさではありませんが、池には鯉や亀が遊んでいて、心が落ち着く庭園だと思います。庭園で結婚写真を撮っている人もいました。今年の3月から8月までずっと就職活動をしていて、プレッシャー满满で半年間を過ごしましたが、庭園見学で久しぶりにリラックスできました。

今回の見学会に参加して本当によかったと思います。江戸東京博物館と旧安田庭園の両方とも私にとって初めて行ったところなので、今までにない新しい体験ができました。それに、同行の先生たち、留学生たちと話し合ったりすることができて、楽しい一日でした。これからも是非RKKの見学活動に参加させていただきたいです。(原文のまま)



第64回 江戸東京博物館・旧安田庭園・社会見学報告

台風18号が猛スピードで東北地方へ去った19日は好天に恵まれ、大相撲秋場所が開催されている両国駅前は力士や相撲見物の絡籠りどころなどで賑わっていた。参加予定の22人が20人に減り江戸東京博物館の団体チケットが適用可能な最低限の20人分のチケットを購入すると定刻に入場した。

江戸東京博物館の6Fへ到着すると、予約していた展示説明の英語と日本語のボランティアガイドに迎えられ見学を開始した。留学生のために英語のガイドを準備していたが留学生は全員が日本語のガイドを選択し、モンゴルからの参加者とRKKの会員3人が英語のガイドさんから説明を受けるという番狂わせがあった。それにしても留学生の日本語の堪能ぶりを改めて知る思いがした。その後、国技館前を旧安田庭園へ移動し、静かな日本庭園内を散策した。定刻の4時30分に両国の駅前で解散したが、駅前の「両国観光案内所」内にある大相撲の実物大の「土俵」を自由参加で見て頂いた。(社会・工場見学G 山口 記)

私の日本語支援

はな かた r h y t h m たいかん
話し方とリズムを体感させる

湘南地区 藤井 勉



友人の紹介でRKKの活動に参加させて頂いています。今まで多くの留学生の皆さんと日本語学習支援を通じて交流を図ることが出来、大変ありがたく思っています。留学生の皆さんが初めての日本で勉強し、生活する事の苦労は大変なものがあると思います。

今はベトナムとアメリカからの留学生の皆さんと大学の図書館、市民活動センターで毎月曜日に楽しく学習支援活動を行っています。日本語学習支援と言っても皆さん勉強したい内容も異なり、どの様に準備をするか、こちらも大変勉強になっています。最初はRKKの講習会で勉強し、加えて子供が学生の頃使っていた文法の本をバイブルに日々悪戦苦闘しています。日本で日本語を勉強する場合、必要な説明を苦手の日本語で聞いている訳で、留学生の皆さんは負担を感じているのではないかと考えています。特に文法など論理的な勉強は日本よりむしろ母国語環境の中で学習した方が理解が早いのではないかと思います。それでは日本で日本語を勉強するメリットは何か？ 私は日本人の発音を聞き、聞き取り、その話し方、リズムを体で感じて、そしてそれをしみつける事では無いかと考えています。従ってレッスンでは文法だけでなく、なるべく私が読んで、それを皆さんに聞いて頂き、耳を鍛え、そしてそのとおりに話して頂く事を心掛けています。どれだけお役に立てているのかわかりませんが、これからも皆さんと楽しく勉強して行きたいと思っています。

グループ活動の紹介

見応えある絵画展



9月16日、戸塚区民文化センター「さくらプラザ」ギャラリーにて、戸塚区美術協会第118回絵画展作品を鑑賞しました。会員が周辺地域の絵画愛好家と共に開催する地域交流特別絵画展ということでした。水彩、油絵、アクリル、パステルなどで描かれた120点の作品には抽象画などはほとんどなく、私などの素人にもその良さが分かり、見応えあつて心ゆくまで楽しむことが出来ました。文化・ファミリー交流グループ大久保さんのご紹介によるもので今後とも楽しみにしたいと思います。(杉田 記)

秋の夜長はオペラの名曲鑑賞でした



9月のコンサートはオペラの名曲鑑賞でした。オペラと言ってもオペラ劇場ではなく演奏会形式のコンサートでしたので神奈川県立音楽堂での鑑賞でした。しかし平日夜のコンサートでしたのでRKKからの参加者は比較的に少なく4人でした。でもアマチュアオーケストラの演奏プログラムとしては大変目新しく、前半最初から後半最後まで全てが偉大なオペラ作曲家ヴェルディ・サン＝サーンス・ビゼー・ワーグナーが作曲したオペラの合唱・ Aria (独唱者はプロの3人)の名曲コンサートでした。演奏プログラムはヴェルディのオペラ「アイダ」からの凱旋行進曲から始まり、最後はワーグナーの「タンホイザー」からの第3幕最後～終幕で、クライマックスの盛り上がりがとても素晴らしいスペクタクルな合唱・Ariaの演奏でした。

参考ですが今回鑑賞した横浜交響楽団はアマチュアオーケストラにも拘わらず年間8回ものコンサートが開催されています。そして自前の合唱団を持っていることから、プロの独唱者を招いて年間8回の内3回はベートーヴェンの第九(交響曲第9番「合唱付」)を初め有名なオペラやレクイエム等の大曲が演奏されています。(鈴木次男 記)

新入正会員のみみなさまへ：よろしくお祈りします！

鈴木市男(藤沢市)、河合喜代子(戸塚区)、永作重夫(港南区)(敬称略)

おもな活動 (2017/8 から 2017/10 まで)

理事会

◇8/27 サポートセンターR710にて、2017年度第1回理事会が開かれ、各活動グループ、委員会担当理事からの活動報告および本年度の各種施策についての意見交換を実施。9/18 サポートセンターR706にて臨時理事会を開催し、RKK 創立 20 年記念事業の件および個人情報保護および肖像権への対応につき審議。

スタッフミーティング

◇9/23 午後、サポートセンターR711にて 24 人のスタッフの参加のもと、2017 年度第 2 回スタッフミーティングが行われ、本年度のスタッフ体制を確認し、活動グループ、地区交流会、委員会からの C&G (報告・連絡そして相談) が実施された。ディスカッションタイムは「RKK フェスティバル 2017 について」をテーマに、運営方法について意見交換と情報の共有化を図った。

活動グループ

◇日本語支援 G : 10/9 を開講日として全 5 回の日本語の教え方講習会を実施中。
◇文化・ファミリー交流 G : 大岡 IR での囲碁教室、クラシック音楽鑑賞会、美術展の紹介を推進。
◇中国語学習 G : 9 月から 11 月までの新たなコースがスタート。10 人が受講。
◇社会・工場見学 G : 9/19 江戸東京博物館、旧安田庭園見学に 20 人が参加。

地区交流会

◇東地区 : 7/9 の地区交流会には 14 人が参加。次回は 11/11 を予定。
◇西地区 : 7/30 の交流会には 15 人が参加。次回は 10/29 を予定。12 月の戸塚お結び広場出展準備。
◇南地区 : 7/23 に留学生を招待して地区交流会を実施。10/9 なか区民祭り出展。
◇北地区 : 7/22 の交流会には 13 人が参加。次回は 10/28 を予定。旭区市民活動センターでの展示準備。
◇中央地区 : 10/29 にカナファンで地区交流会を実施予定。
◇湘南地区 : 9/2 に交流会を実施。9/24 ひらつか市民活動センター祭りに出展。

委員会

◇会員委員会 : 9/23 マッチング検討会を実施。個人情報保護対応調査。
◇広報委員会 : RKK ニュース 69 号の編集。肖像権への対応調査。RKK ニュース送付先の精査。
◇就活情報支援委員会 : 9/28 に委員会を開催。就活情報をメール配信。就活サロンの開催。
◇企画委員会 : 夢ファンド、寄附推進。会議室予約システム対応。名簿管理。
◇会計委員会 : 収支決算・講習会受講料の振込管理。
◇事務室 : 定款変更申請・登記変更申請、理事会、スタッフミーティング開催準備。

トピックス

よこはまこくりつだい
横浜国立大

みづき かい
親月の会

こくさいこうりゅう
国際交流



秋の長雨でお月見を楽しむことはできませんでしたが、恒例の横国大学長主催の外国人研究者・留学生を対象とした「親月の会」が10月19日の夕べに大学の「れんが館」にて開かれ、総勢300人近くが参加されました。美味しい食べものが用意され、民族衣装の披露、和太鼓演奏など多彩な出し物を楽しみながらの盛大な交流会でした。RKK からは深水、津田、徳屋、萩原が参加し、長谷部学長、中村副学長を初め、大学関係者、関連団体そして多くの留学生と挨拶をかわし交流を深めることができました。(萩原 記)

就活情報支援委員会からのお知らせ

“RKK 就活サロン”ってどんなとこ？

留学生との就活の語り合いに役立つ“就活情報支援メール”の月 2 回の配信が 4 月から行われています。読む時間に縛られることなく利用できて便利なら、信頼性の高い情報が得られるとの安心感があります。しかし他方で、もっと生の就活情報も知りたいとの声を聞きます

「就活サロン」はこのような要望に応じて生まれました。留学生との語り合いの中で就活の話題に自信が持っていない会員をはじめ、就活留学生のチューターになるかもと考えている会員と、当委員会の委員とが一緒に少人数でテーブルを囲み、就活に関する話題を中心に自由に話し合う場です。サロンは実際にどのようなところのかを過去の話題とキーワードによって紹介します

就職の意味が分かっていない、日本の就活のシステムが分かっていない、大学キャリアセンター、学校推薦、自己分析、会社四季報、エントリーシートはなぜ日本語、抽象より具体的に、模擬面接、IoT、AI などの新聞単語の理解、RKK の原点・理念などです。費用は無料で毎月開いていますので興味のある方は是非おいで下さい。

就活情報支援委員会 岩瀬

地区からの便り



地域のフェスタに初参加、RKKならではの企画を

7月22日、旭区市民活動センター「みなくる」で北地区交流会を行いました。参加人数は12人でした。また、地区スタッフ畔取さんが転居のため、竹山さんに交代をお願いしました。又短い時間でしたが、会員の方の動向をお聞きしました。最近留学生の要求が多岐にわたり、また専門的にもなり、困難な事もありますが、自己研鑽に励みながら留学生と向き合っている会員の姿勢は、この会の先行きを明るくしていると感じました。次回交流会、10月28日(土)は三ツ境の中華料理店で行います。12月17日(土)には会の活動を紹介する「みなくる10thフェスタ」に初参加する予定です。会員の方の参加、協力をお願いします。

北地区スタッフ 羽磯素子、松井直子、竹山満

ひらつか市民活動センターでRKKをアピール

9月24日(日)に、ひらつか市民活動センターで、「ひらつか市民活動センターまつり」が開催され、RKKも出展しました。

市民活動センターに登録された団体は保険・子育て・暮らし・文化・国際協力等々、様々なボランティア団体の活動を市民に紹介するもので、毎年開催される楽しい行事であります。会場はJAビル2Fの広いフロアで、49団体がそれぞれ工夫を凝らした積極的な展示で一般市民の参加も多く、歩くのもままならない程の盛況でした。

RKKはその紹介パネル、各種活動状況パネルおよびPC利用によるスライドショー等によりその場で活動内容がわかる展示をしました。さらにRKKホームページ(資料)、ひらつか七夕写真集、日本語講習会パンフ等、RKK全般に触れる詳細な多数の配布資料を展示しました。従来は平塚在住の吉澤顧問が小規模の展示をされていましたが、今年は規模を拡大しました。幸いRKKブースに立ち寄ってくれた人も多く、特に熱心に言葉を交わした訪問者は30人近くにおよびました。もちろん、七夕祭り参加の写真集もお見せし、RKKのよいPRの機会になりました。今回は湘南地区交流会の吉澤、佐々木、深水、岩瀬、山崎が担当しました。

なお、ここはRKK七夕まつりの会場でもあります。湘南地区交流会では、この市民活動センターまつりに出展して、「RKK七夕まつり」の会場等を確保し、今後共、円滑に継続して開催するためのアピールにも力を注ぎました。

湘南地区交流会 山崎



なか区民活動センター祭りに参加



RKK南地区は10月8日(日)に横浜市中区のなか区民活動センターで開催された「なか区民活動センター祭り」に参加しています。中区政90周年開港記念会館100周年記念の区民祭り「ハローよこはま」と同時開催でした。南地区が会議などで活動に利用している区民活動センターは横浜公園や日本大通りに隣接しており、当日は暑いぐらいの秋晴れで大勢の市民で大盛況でした。

お花見やスピーチ大会などのイベント写真の展示を行い、子ども連れの家族や市民が興味深く見てくださいました。南地区のメンバー2人と昨年も参加してくれた中国の留学生の王晶さんと数日前に日本に来たばかりだという斎(さい)さんが参加。会場を訪れた子どもたちと中国語で「じゃんけんぽん」をして親睦を深めました。会の活動に興味を持ってくださった市民からの質問にも応えたりして有意義な一日となりました。

南地区交流会 植竹



よこはま夢ファンドのご案内

横浜市にはボランティア団体の活動支援を目的とした「よこはま夢ファンド」という制度があることをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じてRKKの活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします。



留学生の皆さんへ／For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- 日常会話 (Daily Conversation)
- ビジネス会話 (Business Conversation)
- 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- 就職活動 (Job Hunting・Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan this code for getting application form.



Come and Enjoy RKK FESTIVAL 2017

RKK will hold RKK Festival on 23rd Nov. (Holiday) at Kanagawa Kenmin Center.

Morning session is 13th Japanese Speech Contest by international students.

Afternoon session is Culture Exchange which consists of

- A) Exhibition of painting, photo
 - B) Performance of Japanese, Chinese traditional music and dance
 - C) Workshop of traditional Japanese culture like Igo, Shogi, Calligraphy, Tea Ceremony etc.
- We welcome your application of photo, painting and home country introduction.

Let's enjoy Japanese Culture Festival together. Admission is free.



RKK フェスティバルに参加しませんか

芸術の秋を迎え RKK では恒例の RKK フェスティバルを 11 月 23 日に、かながわ県民センターで開催します。留学生会員、日本人会員との貴重な交流の場でありますので皆様ふるってご参加ください。

午前には第 13 回スピーチコンテストが行われ各国からの留学生が日本語で発表します。留学生の視点を通して新しい日本を発見できることでしょう。

午後には第 5 回文化祭が開催されます。日本舞踊、琴の演奏、中国二胡、琵琶の演奏、留学生による母国紹介などに加え、絵画、写真の展示、囲碁、茶道、書道、伝統遊戯のワークショップなどを予定しています。皆様の作品出展、各ワークショップへの積極的な参加をお願いいたします。留学生をお誘いあわせの上全員参加で楽しいフェスティバルにしましょう。参加無料です。

NPO 法人 留学生と語り合う会

連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール：rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ：<http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集：RKK 広報委員会 秋号担当 村田威雄 Oct. 24, 2017



無断転載をお断りします。